

対象校No. 235

注4

学校コード F113310103206

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

拓殖大学 政経学部 社会安全学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人拓殖大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務課
職名・氏名	ヤマグチ コウシロウ 山口 洸志郎
電話番号	03-3947-7111 (内線: 1111)
(夜間)	03-3947-7111 (内線: 1111)
e-mail	somu_bunsho@ofc.takushoku-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

政経学部

＜社会安全学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人拓殖大学

(2) 大学名

拓殖大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒193-0985
東京都八王子市館町815番地1

(〒112-8585
東京都文京区小日向三丁目4番14号)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オカド タクミ) 岡戸 巧 (令和5年6月)		
学長	(スズキ ショウイチ) 鈴木 昭一 (令和3年4月)		
学部長	(タノ タケオ) 田野 武夫 (令和7年4月)		
学科長等	(セキ ヨシキ) 関 良基 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
政経学部 社会安全学科 学士(法律政治学)	法学関係	4年	150人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	150人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	150人 () [10]	人 () []	-			
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1022 () [24]	() []	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳	1.08倍		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	919 () [23]	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	631 () [16]	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	162 () [13]	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	162 [13] (-)	- [-] (-)	
2 年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	162 [13] (-)	- [-] (-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	人	人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	162 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1名)
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{163} = \boxed{0.61} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<政経学部 社会安全学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員 （助手を除く）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学	SDGs基礎	1-2-3 4後		2								1	
	日本史	1-2-3 4後		2								1	
	東洋史	1-2-3 4後		2								2	
	西洋史	1-2-3 4後		2								1	
	西洋文化史	1-2-3 4前		2								1	
	宗教学	1-2-3 4後		2								1	
	人文地理学	1-2-3 4前		2								1	
	現代の国際関係	1-2-3 4前		2								1	
	防災と安全	1-2-3 4後		2								1	
	文化人類学	1-2-3 4後		2								1	
	生態学	1-2-3 4前		2		1							
	環境科学	1-2-3 4後		2		1							
	小計(12科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	9	
全学	日本国憲法	1-2-3 4前		2								1	
	政治学	1-2-3 4後		2								1	
	社会学	1-2-3 4前		2								1	
	経済学	1-2-3 4後		2								1	
	流通論	1-2-3 4後		2								1	
	近代社会の思想史	1-2-3 4後		2								1	
	コミュニティ論	1-2-3 4後		2								1	
	健康科学	1-2-3 4前		2								1	
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	0	8	
	全学	哲学	1-2-3 4前		2								1
		倫理学	1-2-3 4後		2								1
		論理学	1-2-3 4前-後		2								1
		心理学	1-2-3 4後		2								1
外国文学		1-2-3 4前-後		2								2	
美術		1-2-3 4前-後		2								1	
音楽		1-2-3 4前-後		2								1	
映像文化論		1-2-3 4前		2								1	
武道論		1-2-3 4後		2		1							
スポーツの心理学		1-2-3 4後		2								1	
スポーツの歴史と社会		1-2-3 4後		2		1							
スポーツ演習		1-2-3 4前-後		1		1						2	
トレーニング演習		1-2-3 4前-後		1								1	
小計(13科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	10		
全学	職業と人生	1-2-3 4前		2								1	
	文章表現の基礎	1-2-3 4前-後		2								3	
	レポートの書き方	1-2-3 4前-後		2								2	
	ビジネス文の書き方	1-2-3 4前		2								1	
	プレゼンテーションと交渉	1-2-3 4前		2								1	
	口頭表現の技法	1-2-3 4前-後		2								1	
	ボランティア論	1-2-3 4後		2								1	
	歴史の中の拓殖大学	1-2-3 4前		2								1	
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	0	8	
	全学	AI・データサイエンス基礎	1-2-3 4後		2								1
		ITパスポート	1-2-3 4後		2		1						
		情報リテラシー	1-2-3 4前		2		1						
		数学	1-2-3 4後		2								1
統計学		1-2-3 4前		2								1	
小計(5科目)	-	-	0	10	0	1	0	0	0	0	3		

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員 （助手を除く）	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学	SDGs基礎	1-2-3 4後		2								1	
	日本史	1-2-3 4後		2								1	
	東洋史	1-2-3 4後		2								2	
	西洋史	1-2-3 4後		2								1	
	西洋文化史	1-2-3 4前		2								1	
	宗教学	1-2-3 4後		2								1	
	人文地理学	1-2-3 4前		2								1	
	現代の国際関係	1-2-3 4前		2								1	
	防災と安全	1-2-3 4後		2								1	
	文化人類学	1-2-3 4後		2								1	
	生態学	1-2-3 4前		2		1							
	環境科学	1-2-3 4後		2		1							
	小計(12科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	9	
全学	日本国憲法	1-2-3 4前		2								1	
	政治学	1-2-3 4後		2			1					0	
	社会学	1-2-3 4前		2				1				0	
	経済学	1-2-3 4後		2								1	
	流通論	1-2-3 4後		2								1	
	近代社会の思想史	1-2-3 4後		2								1	
	コミュニティ論	1-2-3 4後		2								1	
	健康科学	1-2-3 4前		2								1	
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	1	1	0	0	0	6	
	全学	哲学	1-2-3 4前		2								1
		倫理学	1-2-3 4後		2								1
		論理学	1-2-3 4前-後		2								1
		心理学	1-2-3 4後		2								1
外国文学		1-2-3 4前-後		2								2	
美術		1-2-3 4前-後		2								1	
音楽		1-2-3 4前-後		2								1	
映像文化論		1-2-3 4前		2								1	
武道論		1-2-3 4後		2		1							
スポーツの心理学		1-2-3 4後		2								1	
スポーツの歴史と社会		1-2-3 4後		2		1							
スポーツ演習		1-2-3 4前-後		1		1						2	
トレーニング演習		1-2-3 4前-後		1								3	
小計(13科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	13		
全学	職業と人生	1-2-3 4前		2								1	
	文章表現の基礎	1-2-3 4前-後		2								3	
	レポートの書き方	1-2-3 4前-後		2								2	
	ビジネス文の書き方	1-2-3 4前		2								1	
	プレゼンテーションと交渉	1-2-3 4前		2								1	
	口頭表現の技法	1-2-3 4前-後		2								1	
	ボランティア論	1-2-3 4後		2								1	
	歴史の中の拓殖大学	1-2-3 4前		2								1	
	小計(8科目)	-	-	0	16	0	0	0	0	0	0	8	
	全学	AI・データサイエンス基礎	1-2-3 4後		2								1
		ITパスポート	1-2-3 4後		2		1						
		情報リテラシー	1-2-3 4前		2		1						
		数学	1-2-3 4後		2								1
統計学		1-2-3 4前		2								1	
小計(5科目)	-	-	0	10	0	1	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 基幹教員以外	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	1年英語① I	1前		1								8	
	1年英語① II	1後		1								8	
	1年英語② I	1前		1								8	
	1年英語② II	1後		1								8	
	2年英語① I	2前			1							8	
	2年英語① II	2後			1							8	
	2年英語② I	2前			1							8	
	2年英語② II	2後			1							8	
	小計(8科目)	-	-		4	4	0	0	0	0	0	0	9
	1年中国語 I	1前			1								2
	1年中国語 II	1後			1								2
	2年中国語 I	2前			1								2
	2年中国語 II	2後			1								2
	1年韓国語 I	1前			1								2
	1年韓国語 II	1後			1								2
	2年韓国語 I	2前			1								2
	2年韓国語 II	2後			1								2
	1年スペイン語 I	1前			1								1
	1年スペイン語 II	1後			1								1
	2年スペイン語 I	2前			1								1
	2年スペイン語 II	2後			1								1
	小計(12科目)	-	-		0	12	0	0	0	0	0	0	5
	1年日本語① I (留学生)	1前			1								1
	1年日本語① II (留学生)	1後			1								1
	1年日本語② I (留学生)	1前			1								1
	1年日本語② II (留学生)	1後			1								1
	2年日本語① I (留学生)	2前			1								1
	2年日本語① II (留学生)	2後			1								1
2年日本語② I (留学生)	2前			1								1	
2年日本語② II (留学生)	2後			1								1	
3年ビジネス日本語 I (留学生)	3前			1								1	
3年ビジネス日本語 II (留学生)	3後			1								1	
1年専門日本語 I (留学生)	1前			1								1	
1年専門日本語 II (留学生)	1後			1								1	
2年専門日本語 I (留学生)	2前			1								1	
2年専門日本語 II (留学生)	2後			1								1	
日本の社会と文化 I (留学生)	1前			2								1	
日本の社会と文化 II (留学生)	1後			2								1	
小計(16科目)	-	-		0	18	0	0	0	0	0	0	3	
専門科目	アカデミック・スキル	1前		2			8	5					
	法学入門	1前			2		1						
	政治学入門	1前			2		1						
	行政学入門	1後			2		1						
	国際関係入門	1後			2		1						
	統計入門	1前			2		1						
	哲学・思想入門	1後			2							1	
	小計(7科目)	-	-		2	12	0	8	5	0	0	0	1
	2年ゼミナール	2通		○	4			8	5				
	3年ゼミナール	3通		○	4			8	5				
	4年ゼミナール	4通		○	4			8	5				
	ゼミナール論文	4通			4			8	5				
	小計(4科目)	-	-		0	16	0	8	5	0	0	0	0
	社会安全論	1後		○	2								
	地域安全論	1後		○		2		1	1				
	警察学概論	1後			2			1					
消防学概論	1前			2			1						
情報セキュリティ論	1後			2			1						
捜査法	2後			2			1						
犯罪学	2前			2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 基幹教員以外	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	1年英語① I	1前		1								5	
	1年英語① II	1後		1								5	
	1年英語② I	1前		1								4	
	1年英語② II	1後		1								4	
	2年英語① I	2前			1							8	
	2年英語① II	2後			1							8	
	2年英語② I	2前			1							8	
	2年英語② II	2後			1							8	
	小計(8科目)	-	-		4	4	0	0	0	0	0	0	10
	1年中国語 I	1前			1								2
	1年中国語 II	1後			1								2
	2年中国語 I	2前			1								2
	2年中国語 II	2後			1								2
	1年韓国語 I	1前			1								2
	1年韓国語 II	1後			1								2
	2年韓国語 I	2前			1								2
	2年韓国語 II	2後			1								2
	1年スペイン語 I	1前			1								2
	1年スペイン語 II	1後			1								2
	2年スペイン語 I	2前			1								2
	2年スペイン語 II	2後			1								2
	小計(12科目)	-	-		0	12	0	0	0	0	0	0	6
	1年日本語① I (留学生)	1前			1								1
	1年日本語① II (留学生)	1後			1								1
	1年日本語② I (留学生)	1前			1								1
	1年日本語② II (留学生)	1後			1								1
	2年日本語① I (留学生)	2前			1								1
	2年日本語① II (留学生)	2後			1								1
2年日本語② I (留学生)	2前			1								1	
2年日本語② II (留学生)	2後			1								1	
3年ビジネス日本語 I (留学生)	3前			1								1	
3年ビジネス日本語 II (留学生)	3後			1								1	
1年専門日本語 I (留学生)	1前			1								1	
1年専門日本語 II (留学生)	1後			1								1	
2年専門日本語 I (留学生)	2前			1								1	
2年専門日本語 II (留学生)	2後			1								1	
日本の社会と文化 I (留学生)	1前			2								1	
日本の社会と文化 II (留学生)	1後			2								1	
小計(16科目)	-	-		0	18	0	0	0	0	0	0	3	
専門科目	アカデミック・スキル	1前		2			9	4				1	
	法学入門	1前			2		1						
	政治学入門	1前			2		1						
	行政学入門	1後			2		1						
	国際関係入門	1後			2		1						
	統計入門	1前			2		1						
	哲学・思想入門	1後			2							1	
	小計(7科目)	-	-		2	12	0	9	4	0	0	0	2
	2年ゼミナール	2通		○	4			9	4				
	3年ゼミナール	3通		○	4			9	4				
	4年ゼミナール	4通		○	4			9	4				
	ゼミナール論文	4通			4			9	4				
	小計(4科目)	-	-		0	16	0	9	4	0	0	0	0
	社会安全論	1後		○	2								
	地域安全論	1後		○		2		2	0				
	警察学概論	1後			2			1					
消防学概論	1前			2			1						
情報セキュリティ論	1後			2			1						
捜査法	2後			2			1						
犯罪学	2前			2			1	0					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員を 除く	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	刑事政策	2後		2			1						
	被害者学	2後		2							1		
	地域防災論	2前		2							1		
	救急論	2後		2		1							
	社会調査法	2前		2		1							
	都市政策	3・4後		2		1							
	環境政策	3・4前	○	2		1							
	地域危機管理論	3・4後		2							1		
	小計(15科目)	-	-	2	28	0	5	2	0	0	0	2	
	憲法(日本国憲法の基本)	1前・後	○	2			1						
	憲法(基本的人権)	1後		2			1						
	民法(総則)	1前		2							1		
	民法(物権法)	1後		2							1		
	憲法(統治機構)	2前		2			1						
	行政法(総論)	2後		2			1						
	刑法(各論)I	2前		2			1						
	刑法(各論)II	2後		2			1						
	刑法(総論)I	2前	○	2			1						
	刑法(総論)II	2後	○	2			1						
	刑事訴訟法I	2前		2			1						
	刑事訴訟法II	2後		2			1						
	少年法	2前		2			1						
	民法(不法行為法)	2後		2							1		
	商法(総則)	2前		2							1		
民事訴訟法A	2前		2							1			
民事訴訟法B	2後		2							1			
労働法A	2前		2							1			
労働法B	2後		2							1			
行政法(各論)	3・4前		2			1							
地方自治法A	3・4前		2			1							
地方自治法B	3・4後		2			1							
警察法	3・4前		2			1							
消防法	3・4後		2			1							
小計(24科目)	-	-	2	46	0	2	4	0	0	0	5		
政治学原論	1後	○	2			1							
地方政治論	1後		2			1							
国際政治史A	1前		2			1							
国際政治史B	1後		2			1							
日本政治史A	2前		2							1			
日本政治史B	2後		2							1			
政治過程論A	2前		2							1			
政治過程論B	2後		2							1			
国際機構論A	2前		2			1							
国際機構論B	2後		2			1							
マスメディア論	3・4前		2							1			
現代日本政治論A	3・4前		2			1							
現代日本政治論B	3・4後		2			1							
安全保障論	3・4前		2			1							
小計(14科目)	-	-	2	26	0	2	0	0	0	0	3		
地方自治論	1後	○	2			1							
行政学A	2前	○	2			1							
行政学B	2後	○	2			1							
公共政策論A	2前		2			1							
公共政策論B	2後		2			1							
地域振興論	2前	○	2			1				1			
社会政策論A	2前		2			1				1			
社会政策論B	2後		2			1				1			
警察行政	2前		2			1							
消防行政	2前		2			1							
社会保障論A	3・4前		2			1							
社会保障論B	3・4後		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外 の教員を 除く	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	刑事政策	2後		2			1	0					
	被害者学	2後		2								1	
	地域防災論	2前		2								1	
	救急論	2後		2		1							
	社会調査法	2前		2		1							
	都市政策	3・4後		2		1							
	環境政策	3・4前	○	2		1							
	地域危機管理論	3・4後		2								1	
	小計(15科目)	-	-	2	28	0	6	1	0	0	0	2	
	憲法(日本国憲法の基本)	1前・後	○	2			1						
	憲法(基本的人権)	1後		2			1						
	民法(総則)	1前		2							1		
	民法(物権法)	1後		2							1		
	憲法(統治機構)	2前		2			1						
	行政法(総論)	2後		2			1						
	刑法(各論)I	2前		2			1						
	刑法(各論)II	2後		2			1						
	刑法(総論)I	2前	○	2			1						
	刑法(総論)II	2後	○	2			1						
	刑事訴訟法I	2前		2			1						
	刑事訴訟法II	2後		2			1						
	少年法	2前		2			1	0					
	民法(不法行為法)	2後		2							1		
	商法(総則)	2前		2							1		
民事訴訟法A	2前		2							1			
民事訴訟法B	2後		2							1			
労働法A	2前		2							1			
労働法B	2後		2							1			
行政法(各論)	3・4前		2			1							
地方自治法A	3・4前		2			1							
地方自治法B	3・4後		2			1							
警察法	3・4前		2			1							
消防法	3・4後		2			1							
小計(24科目)	-	-	2	46	0	3	3	0	0	0	5		
政治学原論	1後	○	2			1							
地方政治論	1後		2			1							
国際政治史A	1前		2			1							
国際政治史B	1後		2			1							
日本政治史A	2前		2							1			
日本政治史B	2後		2							1			
政治過程論A	2前		2							1			
政治過程論B	2後		2							1			
国際機構論A	2前		2			1							
国際機構論B	2後		2			1							
マスメディア論	3・4前		2							1			
現代日本政治論A	3・4前		2			1							
現代日本政治論B	3・4後		2			1							
安全保障論	3・4前		2			1							
小計(14科目)	-	-	2	26	0	2	0	0	0	0	3		
地方自治論	1後	○	2			1							
行政学A	2前	○	2			1							
行政学B	2後	○	2			1							
公共政策論A	2前		2			1							
公共政策論B	2後		2			1							
地域振興論	2前	○	2			1				1			
社会政策論A	2前		2			1				1			
社会政策論B	2後		2			1				1			
警察行政	2前		2			1							
消防行政	2前		2			1							
社会保障論A	3・4前		2			1							
社会保障論B	3・4後		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 基幹教員以外 の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	地方財政A	3・4前		2								1
	地方財政B	3・4後		2								1
	NPO論	3・4前		2			1					
	公務員論	3・4前		2			1					
	小計(16科目)	-	-	0	32	0	3	2	0	0	0	1
自由科目	講座「守る力」(防犯・防災・防衛)	1後		2		2	1					
	職業能力基礎(SPI)非言語	1・2・3・4前		2								1
	職業能力基礎(SPI)言語	1・2・3・4後		2								1
	小計(3科目)	-	-	0	6	0	2	1	0	0	0	1
	講座「SDGs」	1・2・3・4前		2		2	1					8
	小計(1科目)	-	-	0	2	0	2	1	0	0	0	8
	武道演習Ⅰ	1通		2		1						
	武道演習Ⅱ	2通		2		1						
	武道演習Ⅲ	3通		2		1						
	武道演習Ⅳ	4通		2		1						
	スポーツ栄養学	2・3・4前		2								1
	スポーツ経済論	2・3・4後		2								1
スポーツ経営論	2・3・4後		2								1	
コーチング論A	2・3・4前		2		1							
コーチング論B	2・3・4後		2		1							
スポーツ医学A	2・3・4前		2								1	
スポーツ医学B	2・3・4後		2								1	
競技者養成システム論	2・3・4前		2		1							
小計(12科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	0	4
	合計(178科目)	-	-	12	316	0	8	5	0	0	0	71

卒業要件及び履修方法

全学共通教養科目について16単位、外国語科目について12単位、専門科目について必修科目8単位を含む88単位、自由科目について10単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。

外国人留学生は、全学共通教養科目について6単位、外国語科目について22単位(第一外国語 英語「1年英語」4単位必修、第二外国語(日本語)18単位必修)、専門科目について必修科目8単位を含む88単位、自由科目について10単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 基幹教員以外 の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	地方財政A	3・4前		2								1
	地方財政B	3・4後		2								1
	NPO論	3・4前		2			1					
	公務員論	3・4前		2			1					
	小計(16科目)	-	-	0	32	0	3	2	0	0	0	1
自由科目	講座「守る力」(防犯・防災・防衛)	1後		2		2	1					
	職業能力基礎(SPI)非言語	1・2・3・4前		2								1
	職業能力基礎(SPI)言語	1・2・3・4後		2								1
	小計(3科目)	-	-	0	6	0	2	1	0	0	0	1
	講座「SDGs」	1・2・3・4前		2		2	1					8
	小計(1科目)	-	-	0	2	0	1	1	0	0	0	8
	武道演習Ⅰ	1通		2		1						
	武道演習Ⅱ	2通		2		1						
	武道演習Ⅲ	3通		2		1						
	武道演習Ⅳ	4通		2		1						
	スポーツ栄養学	2・3・4前		2								1
	スポーツ経済論	2・3・4後		2								1
スポーツ経営論	2・3・4後		2								1	
コーチング論A	2・3・4前		2		1							
コーチング論B	2・3・4後		2		1							
スポーツ医学A	2・3・4前		2								1	
スポーツ医学B	2・3・4後		2								1	
競技者養成システム論	2・3・4前		2		1							
小計(12科目)	-	-	0	24	0	1	0	0	0	0	0	4
	合計(178科目)	-	-	12	316	0	9	4	0	0	0	87

卒業要件及び履修方法

全学共通教養科目について16単位、外国語科目について12単位、専門科目について必修科目8単位を含む88単位、自由科目について10単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。

外国人留学生は、全学共通教養科目について6単位、外国語科目について22単位(第一外国語 英語「1年英語」4単位必修、第二外国語(日本語)18単位必修)、専門科目について必修科目8単位を含む88単位、自由科目について10単位以上を修得し、合計126単位以上修得すること。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

1. 担当者の変更の理由により、以下のとおり変更。
 - ・「政治学」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授0」から「基幹教員 教授1」に、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
 - ・「1年スペイン語Ⅰ」「1年スペイン語Ⅱ」「2年スペイン語Ⅰ」「2年スペイン語Ⅱ」の「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
 - ・「トレーニング演習」の「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
 - ・「2年ゼミナール」「3年ゼミナール」「4年ゼミナール」「ゼミナール論文」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授8」から「基幹教員 教授9」に、「基幹教員 准教授5」から「基幹教員 准教授4」に変更。
 - ・「地域安全論」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授1」から「基幹教員 教授2」に、「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 准教授0」に変更。
 - ・「犯罪学」「刑事政策」「少年法」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授0」から「基幹教員 教授1」に、「基幹教員 准教授1」から「基幹教員 准教授0」に変更。
2. 授業運営上の理由により、以下のとおり教員配置を変更。
 - ・「社会学」の基幹教員等の配置を「基幹教員 准教授0」から「基幹教員 准教授1」に、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員0」に変更。
 - ・「講座「SDGs」」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授2」から「基幹教員 教授1」に変更。
 - ・「1年英語①Ⅰ」「1年英語①Ⅱ」の「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
 - ・「1年英語②Ⅰ」「1年英語②Ⅱ」の「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
3. 教育効果の向上を図るための理由により、「アカデミック・スキル」の基幹教員等の配置を「基幹教員 教授8」から「基幹教員 教授9」に、「基幹教員 准教授5」から「基幹教員 准教授4」に、「基幹教員以外の教員0」から「基幹教員以外の教員1」に変更。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	154 科目	16 科目	178 科目	8 科目 [0]	154 科目 [0]	16 科目 [0]	178 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{178} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	371,333.79㎡	㎡	㎡	371,333.79㎡				
	その他	843,220.65㎡ (845,895.65㎡)	㎡	㎡	843,220.65㎡ (845,895.65㎡)	セミナーハウス売却 (6)			
	合 計	1,214,554.44㎡ (1,217,229.44㎡)	㎡	㎡	1,214,554.44㎡ (1,217,229.44㎡)				
(2) 校 舎	専 用	104,015.73㎡ 104,408.46㎡ (104,460.53㎡)	(㎡)	(㎡)	104,015.73㎡ 104,408.46㎡ (104,460.53㎡)	研究室及び倉庫の用途 の変更(6) 研究室及び事務用倉庫 の用途の変更(6)			
	教 室		346室	教員研究室	15室	大学全体			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標 本	大学全体の共用分 図書 118,955 [8,591] (106,299 [7,971]) 電子図書 1,474 [1,039] (1,474 [1,039]) 学術雑誌 19,280 [18,752] (19,280 [18,752]) 電子ジャーナル 18,575 [18,498] (18,575 [18,498])		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			点	点
	政経学部 社会安全学科	41,257 [6,598] (36,417 [5,978])	9 [0] (9 [0])	443 [326] (443 [326])	170 [170] (170 [170])	1,618 2,488 (1,618)		0 (0)	
	計	41,257 [6,598] (36,417 [5,978])	9 [0] (9 [0])	443 [326] (443 [326])	170 [170] (170 [170])	1,618 2,488 (1,618)		0 (0)	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	377.89㎡		2,059.62㎡		16,069.62㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,504千円	1,504千円	1,504千円	
	共同研究費等	14,000千円	14,000千円	設備購入費	319,105千円	2,061千円	7,364千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,282千円	1,082千円	1,082千円	1,082千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等の事業活動収入を以て充当する。							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	拓殖大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度		
商学部	4	645	-	2580	-		1.06	-	-	昭和24	-	
経営学科	4	416	-	1664	学士(商学)		1.05	-	-	昭和24	東京都文京区小日向3丁目4番14号	
国際ビジネス学科	4	159	-	636	学士(商学)		1.05	-	-	昭和24	同上	
会計学科	4	70	-	280	学士(商学)		1.14	-	-	平成19	同上	
政経学部	4	703	-	2962	-		1.04	-	-	昭和24	-	
法律政治学科	4	230	-	920	学士(法律政治学)		1.02	-	-	昭和24	東京都文京区小日向3丁目4番14号	
経済学科	4	473	-	1892	学士(経済学)		1.05	-	-	昭和24	同上	
社会安全学科	4	150	-	150	学士(法律政治学)		1.08	-	-	令和7	東京都八王子市館町815番1号	令和7年度より開設
外国語学部	4	280	-	1120	-		0.79	-	-	昭和52	-	
英米語学科	4	130	-	520	学士(英米語)		0.88	-	-	昭和52	東京都八王子市館町815番1号	
中国語学科	4	50	-	200	学士(中国語)		0.62	-	-	昭和52	同上	
スペイン語学科	4	50	-	200	学士(スペイン語)		0.71	-	-	昭和52	同上	
国際日本語学科	4	50	-	200	学士(日本語)		0.83	-	-	令和2	同上	
工学部	4	320	-	1,380	-		1.02	-	-	昭和62	-	
機械システム工学科	4	80	-	320	学士(工学)		0.98	-	-	昭和62	東京都八王子市館町815番1号	
電子システム工学科	4	80	-	320	学士(工学)		1.00	-	-	昭和62	同上	
情報工学科	4	105	-	420	学士(工学)		1.09	-	令和4	昭和62	同上	令和4年度から入学定員変更(80→105)
デザイン学科	4	80	-	320	学士(工学)		0.97	-	-	昭和62	同上	
国際学部	4	350	-	1,400	-		0.89	-	-	平成19	-	
国際学科	4	350	-	1,400	学士(国際学)		0.89	-	-	平成19	東京都八王子市館町815番1号	
大学全体	4	2,323	-	9,442	-		-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」として全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」としては、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<政経学部 社会安全学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(主専)	教授(学部長)	関 良基 (55) <令和7年4月> 博士(農学)	生態学 環境科学 アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 環境政策 講座「SDGs」※	基(主専)	教授(学部長)	関 良基 (55) <令和7年4月> 博士(農学)	生態学 環境科学 アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 環境政策 講座「SDGs」※
		川田 進 (61) <令和7年4月> 商学士	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 社会安全論※ 消防学概論 救急論 消防法 消防行政 講座「守る力」(防犯・防災・防衛)※			川田 進 (61) <令和7年4月> 商学士	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 社会安全論※ 消防学概論 救急論 消防法 消防行政 講座「守る力」(防犯・防災・防衛)※
基(主専)	教授	河村 和徳 (53) <令和7年4月> 修士(法学) 博士(情報科学)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 政治学入門 政治学原論 地方政治論 現代日本政治論A 現代日本政治論B	基(主専)	教授	河村 和徳 (53) <令和7年4月> 修士(法学) 博士(情報科学)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 政治学入門 政治学原論 地方政治論 現代日本政治論A 現代日本政治論B 政治学
		久保田 ゆかり (63)(高) <令和7年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 国際関係入門 社会安全論※ 国際政治史A 国際政治史B 国際機構論A 国際機構論B 安全保障論			久保田 ゆかり (63)(高) <令和7年4月> 博士(学術)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 国際関係入門 社会安全論※ 国際政治史A 国際政治史B 国際機構論A 国際機構論B 安全保障論
基(主専)	教授	佐藤 伸一郎 (59) <令和7年4月> 博士(スポーツ健康科学)	武道論 スポーツの歴史と社会 スポーツ演習 アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 講座「SDGs」※ 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ 武道演習Ⅲ 武道演習Ⅳ コーチング論A コーチング論B 競技者養成システム	基(主専)	教授	佐藤 伸一郎 (59) <令和7年4月> 博士(スポーツ健康科学)	武道論 スポーツの歴史と社会 スポーツ演習 アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 武道演習Ⅰ 武道演習Ⅱ 武道演習Ⅲ 武道演習Ⅳ コーチング論A コーチング論B 競技者養成システム
		中川 正浩 (63)(高) <令和7年4月> 法学士	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 社会安全論※ 警察学概論 捜査法 警察法 警察行政 講座「守る力」(防犯・防災・防衛)※			中川 正浩 (64)(高) <令和7年4月> 法学士	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 社会安全論※ 警察学概論 捜査法 警察法 警察行政 講座「守る力」(防犯・防災・防衛)※
基(主専)	教授	西山 慶司 (57) <令和7年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 行政学入門 行政学A 行政学B 公共政策論A 公共政策論B 社会政策論A 社会政策論B	基(主専)	教授	西山 慶司 (57) <令和7年4月> 博士(政治学)	アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 行政学入門 行政学A 行政学B 公共政策論A 公共政策論B 社会政策論A 社会政策論B

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	若林 (菅原) 直子 (60) <令和7年4月> 博士(工学)
		ITバースポート 情報リテラシー アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 統計入門 地域安全論※ 情報セキュリティ論 社会調査法
基 (主専)	准教授	菅沼 博子 (35) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 法学入門 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 憲法(日本国憲法の基本) 憲法(基本的人権) 憲法(統治機構) 行政法(総論) 行政法(各論)
基 (主専)	准教授	永井 紹裕 (40) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 刑法(各論) I 刑法(各論) II 刑法(総論) I 刑法(総論) II 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 II
基 (主専)	准教授	堀田 学 (46) <令和7年4月> 学士(法学) 修士(政治学)※
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 都市政策 地方自治法A 地方自治法B 地方自治論 公務員論
基 (主専)	准教授	本多 俊貴 (39) <令和7年4月> 修士(社会学) 博士(農学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 地域振興論 社会政策論A 社会政策論B NPO論 講座「守る力」(防犯・防災・ 防衛)※ 講座「SDGs」※
基 (主専)	准教授	渡邊 (村井) 泰洋 (50) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 地域安全論※ 犯罪学 刑事政策 少年法
その他	教授	市川 哲郎 (60) <令和7年4月> 修士(経済学)※ 講座「SDGs」※
その他	教授	大森 裕二 (56) <令和7年4月> M.A. in English (カナダ) 修士(文学)※ 外国文学
その他	教授	奥田 進一 (55) <令和7年4月> 修士(法学) 民法(不法行為法) 講座「SDGs」※
その他	教授	織田 寛 (55) <令和7年4月> 博士(数理学) 数学
その他	教授	小竹 聡 (63) <令和7年4月> 博士(法学) 講座「SDGs」※
その他	教授	小林 伊智郎 (56) <令和7年4月> 修士(日本語日本文学) 文章表現の基礎

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主専)	教授	若林 (菅原) 直子 (60) <令和7年4月> 博士(工学)
		ITバースポート 情報リテラシー アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 統計入門 地域安全論※ 情報セキュリティ論 社会調査法
基 (主専)	准教授	菅沼 博子 (35) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 法学入門 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 憲法(日本国憲法の基本) 憲法(基本的人権) 憲法(統治機構) 行政法(総論) 行政法(各論)
基 (主専)	准教授	永井 紹裕 (40) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 刑法(各論) I 刑法(各論) II 刑法(総論) I 刑法(総論) II 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 II
基 (主専)	准教授	堀田 学 (46) <令和7年4月> 学士(法学) 修士(政治学)※
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 都市政策 地方自治法A 地方自治法B 地方自治論 公務員論
基 (主専)	准教授	本多 俊貴 (39) <令和7年4月> 修士(社会学) 博士(農学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 地域振興論 社会政策論A 社会政策論B NPO論 講座「守る力」(防犯・防 災・防衛)※ 講座「SDGs」※ 社会学
基 (主専)	准教授	渡邊 (村井) 泰洋 (50) <令和7年4月> 博士(法学)
		アカデミック・スキル 2年ゼミナール 3年ゼミナール 4年ゼミナール ゼミナール論文 地域安全論※ 犯罪学 刑事政策 少年法
その他	教授	市川 哲郎 (60) <令和7年4月> 修士(経済学)※ 講座「SDGs」※
その他	教授	大森 裕二 (56) <令和7年4月> M.A. in English (カナダ) 修士(文学)※ 外国文学
その他	教授	奥田 進一 (55) <令和7年4月> 修士(法学) 民法(不法行為法) 講座「SDGs」※
その他	教授	織田 寛 (55) <令和7年4月> 博士(数理学) 数学
その他	教授	小竹 聡 (63) <令和7年4月> 博士(法学) 講座「SDGs」※
その他	教授	小林 伊智郎 (56) <令和7年4月> 修士(日本語日本文学) 文章表現の基礎

教員 区分	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	佐藤 一磨 (42) <令和7年4月> 博士(商学)
		講座「SDGs」※
その他	教授	佐藤 丙午 (59) <令和7年4月> 博士(法学)
		現代の国際関係
その他	教授	佐野 正俊 (63) <令和7年4月> 修士(教育学)
		文章表現の基礎 レポートの書き方
その他	教授	澤田 次郎 (61) <令和8年4月> 博士(法学)
		日本政治史A 日本政治史B
その他	教授	高橋 大輔 (43) <令和7年4月> 博士(農学)
		講座「SDGs」※
その他	教授	玉井 朗 (69) <令和7年4月> 体育学修士
		スポーツの歴史と社会 スポーツ演習 講座「SDGs」※ コーチング論A コーチング論B 競技者養成システム論
その他	教授	長 友昭 (47) <令和7年4月> 修士(法学)※
		民法(総則) 民法(物権法)
その他	教授	西口 茂樹 (59) <令和7年4月> 修士(体育学)
		スポーツ演習 トレーニング演習
その他	教授	松井 謙一郎 (60) <令和7年4月> 博士(政策・メディア)
		講座「SDGs」※
その他	教授	松橋 崇史 (44) <令和8年4月> 博士(政策・メディア)
		スポーツ経営論
その他	教授	宮下 量久 (46) <令和8年4月> 博士(経済学)
		地方財政A 地方財政B スポーツ経済論
その他	准教授	池上 賢 (46) <令和7年4月> 博士(社会学)
		社会学 マスメディア論
その他	准教授	石川(吉田)一喜 (53) <令和7年4月> 修士(教育学)
		SDGs基礎
その他	准教授	伊藤 紀子 (43) <令和7年4月> 博士(経済学)
		講座「SDGs」※
その他	准教授	岡田 陽介 (49) <令和8年4月> 博士(政治学)
		政治過程論A 政治過程論B
その他	准教授	川本 敦史 (42) <令和7年4月> 博士(数理科学)
		統計学
その他	准教授	鈴木 なつ未 (46) <令和8年4月> 博士(スポーツ医学)
		スポーツ医学A スポーツ医学B
その他	准教授	土屋(竹田)志穂 (43) <令和7年4月> 修士(法学)※
		講座「SDGs」※
その他	准教授	野村 明史 (43) <令和7年4月> 修士(安全保障)
		歴史の中の拓殖大学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	佐藤 一磨 (42) <令和7年4月> 博士(商学)
		講座「SDGs」※
その他	教授	佐藤 丙午 (59) <令和7年4月> 博士(法学)
		現代の国際関係
その他	教授	佐野 正俊 (63) <令和7年4月> 修士(教育学)
		文章表現の基礎 レポートの書き方
その他	教授	澤田 次郎 (61) <令和8年4月> 博士(法学)
		日本政治史A 日本政治史B
その他	教授	高橋 大輔 (43) <令和7年4月> 博士(農学)
		講座「SDGs」※
その他	教授	玉井 朗 (69) <令和7年4月> 体育学修士
		スポーツの歴史と社会 スポーツ演習 講座「SDGs」※ コーチング論A コーチング論B 競技者養成システム論
その他	教授	長 友昭 (47) <令和7年4月> 修士(法学)※
		民法(総則) 民法(物権法)
その他	教授	西口 茂樹 (59) <令和7年4月> 修士(体育学)
		スポーツ演習 トレーニング演習
その他	教授	米置 修一 (63) <令和7年4月> 経済学学士
		スポーツ演習 トレーニング演習
その他	教授	松井 謙一郎 (61) <令和7年4月> 博士(政策・メディア)
		講座「SDGs」※
その他	教授	松橋 崇史 (44) <令和8年4月> 博士(政策・メディア)
		スポーツ経営論
その他	講師	宮下 量久 (46) <令和8年4月> 博士(経済学)
		地方財政A 地方財政B スポーツ経済論
その他	准教授	池上 賢 (46) <令和8年4月> 博士(社会学)
		マスメディア論
その他	准教授	石川(吉田)一喜 (54) <令和7年4月> 修士(教育学)
		SDGs基礎
その他	准教授	伊藤 紀子 (43) <令和7年4月> 博士(経済学)
		講座「SDGs」※
その他	教授	岡田 陽介 (49) <令和8年4月> 博士(政治学)
		政治過程論A 政治過程論B
その他	准教授	川本 敦史 (42) <令和7年4月> 博士(数理科学)
		統計学
その他	准教授	鈴木 なつ未 (46) <令和8年4月> 博士(スポーツ医学)
		スポーツ医学A スポーツ医学B
その他	准教授	土屋(竹田)志穂 (43) <令和7年4月> 修士(法学)※
		講座「SDGs」※
その他	准教授	野村 明史 (43) <令和7年4月> 修士(安全保障)
		歴史の中の拓殖大学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	矢ヶ崎 邦彦 (41) <令和7年4月> 修士(言語教育学)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ
その他	助教	西垣 貴央 (37) <令和7年4月> 博士(工学)
		A I ・ データサイエンス基礎
その他	講師	阿部 崇史 (38) <令和7年4月> 博士(学術)
		政治学
その他	講師	飯 頌 (37) <令和7年4月> 学士(音楽)
		音楽
その他	講師	石川(村上) 貴子 (56) <令和7年4月> M.A in Linguistics(英国)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	市川 斉 (63) <令和7年4月> 教育学士
		ポランディア論
その他	講師	井戸 大輔 (54) <令和7年4月> 修士(商学)※
		流通論
その他	講師	稲垣 秀人 (56) <令和7年4月> 修士(行政学)
		プレゼンテーションと交渉
その他	講師	今井 宏二 (50) <令和7年4月> 修士(文学)※
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	薄井 良治 (61) <令和7年4月> 博士(文学)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	江村 義行 (49) <令和8年4月> 修士(法学)※
		商法(総則)
その他	講師	大澤 一秋 (63) <令和7年4月> 工学士
		職業能力基礎(SPI)非言語 職業能力基礎(SPI)言語
その他	講師	岡田 幸彦 (59) <令和7年4月> 博士(学術)
		1年日本語①Ⅰ(留学生) 1年日本語①Ⅱ(留学生) 1年日本語②Ⅰ(留学生) 1年日本語②Ⅱ(留学生) 3年ビジネス日本語Ⅰ(留学生) 3年ビジネス日本語Ⅱ(留学生)
その他	講師	岡本 佳子 (54) <令和7年4月> 博士(学術)
		美術
その他	講師	小田(下条) 貴子 (57) <令和7年4月> 文学士
		口頭表現の技法
その他	講師	烏山 房恵 (56) <令和7年4月> 修士(学術)
		2年日本語②Ⅰ(留学生) 2年日本語②Ⅱ(留学生) 2年専門日本語Ⅰ(留学生) 2年専門日本語Ⅱ(留学生) 日本の社会と文化Ⅰ(留学生) 日本の社会と文化Ⅱ(留学生)

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	矢ヶ崎 邦彦 (41) <令和7年4月> 修士(言語教育学)
		アカデミック・スキル 1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ
その他	助教	西垣 貴央 (37) <令和7年4月> 博士(工学)
		A I ・ データサイエンス基礎
その他	講師	阿部 崇史 (38) <令和7年4月> 博士(学術)
その他	講師	飯 頌 (37) <令和7年4月> 学士(音楽)
		音楽
その他	講師	石川(村上) 貴子 (56) <令和7年4月> M.A in Linguistics(英国)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	市川 斉 (63) <令和7年4月> 教育学士
		ポランディア論
その他	講師	井戸 大輔 (54) <令和7年4月> 修士(商学)※
		流通論
その他	講師	稲垣 秀人 (56) <令和7年4月> 修士(行政学)
		プレゼンテーションと交渉
その他	講師	今井 宏二 (60) <令和8年4月> 修士(文学)※
		2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	薄井 良治 (61) <令和8年4月> 博士(文学)
		2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	江村 義行 (49) <令和8年4月> 修士(法学)※
		商法(総則)
その他	講師	大澤 一秋 (63) <令和7年4月> 工学士
		職業能力基礎(SPI)非言語 職業能力基礎(SPI)言語
その他	講師	岡田 幸彦 (60) <令和7年4月> 博士(学術)
		1年日本語①Ⅰ(留学生) 1年日本語①Ⅱ(留学生) 1年日本語②Ⅰ(留学生) 1年日本語②Ⅱ(留学生) 3年ビジネス日本語Ⅰ(留学生) 3年ビジネス日本語Ⅱ(留学生)
その他	講師	岡本 佳子 (54) <令和7年4月> 博士(学術)
		美術
その他	講師	小田(下条) 貴子 (57) <令和7年4月> 文学士
		口頭表現の技法
その他	講師	烏山 房恵 (56) <令和7年4月> 修士(学術)
		2年日本語②Ⅰ(留学生) 2年日本語②Ⅱ(留学生) 2年専門日本語Ⅰ(留学生) 2年専門日本語Ⅱ(留学生) 日本の社会と文化Ⅰ(留学生) 日本の社会と文化Ⅱ(留学生)

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	喜多田 敬嵩 (32) (令和7年4月) 修士(言語学)※
		1年スペイン語Ⅰ 1年スペイン語Ⅱ 2年スペイン語Ⅰ 2年スペイン語Ⅱ
その他	講師	國原(毛利) 美佐子 (57) (令和7年4月) 修士(文学)
		日本史
その他	講師	熊谷 征一郎 (47) (令和7年4月) 修士(文学)※
		近代社会の思想史 論理学
その他	講師	小池 知之 (61) (令和7年4月) Master of Arts(米国)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	甲田 直喜 (55) (令和7年4月) 修士(文学)※
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	佐藤 博昭 (62) (令和7年4月) 芸術学士
		映像文化論
その他	講師	澤田 彰宏 (50) (令和7年4月) 博士(文学)
		宗教学
その他	講師	芝 薫 (53) (令和7年4月) 修士(学術)
		2年日本語①Ⅰ(留学生) 2年日本語①Ⅱ(留学生) 1年専門日本語Ⅰ(留学生) 1年専門日本語Ⅱ(留学生)
その他	講師	杉原 亨 (48) (令和7年4月) 修士(政策・メディア) 博士(ライブラリー サイエンス)
		職業と人生
その他	講師	竹田 恵子 (44) (令和7年4月) 博士(学術)
		コミュニティ論
その他	講師	池 成林 (53) (令和7年4月) 修士(言語学)※
		1年韓国語Ⅰ 1年韓国語Ⅱ 2年韓国語Ⅰ 2年韓国語Ⅱ
その他	講師	戸加里 康子 (55) (令和7年4月) 修士(社会学)※
		東洋史 文化人類学
その他	講師	豊岡 めぐみ (45) (令和7年4月) 博士(文学) Doctorat (Philosophie) (フランス)
		哲学 倫理学
その他	講師	郷 希 瑛 (都馬 ナブチ) (60) (令和7年4月) 修士(文学)※
		1年中国語Ⅰ 1年中国語Ⅱ 2年中国語Ⅰ 2年中国語Ⅱ
その他	講師	中路 喜之 (63) (令和8年4月) 法学修士※
		民事訴訟法A 民事訴訟法B
その他	講師	成田 大起 (37) (令和7年4月) 博士(政治学)
		哲学・思想入門

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	國原(毛利) 美佐子 (57) (令和7年4月) 修士(文学)
		日本史
その他	講師	熊谷 征一郎 (47) (令和7年4月) 修士(文学)※
		近代社会の思想史 論理学
その他	講師	小池 知之 (61) (令和7年4月) Master of Arts(米国)
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	甲田 直喜 (55) (令和8年4月) 修士(文学)※
		2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	佐藤 博昭 (62) (令和7年4月) 芸術学士
		映像文化論
その他	講師	澤田 彰宏 (50) (令和7年4月) 博士(文学)
		宗教学
その他	講師	芝 薫 (54) (令和7年4月) 修士(学術)
		2年日本語①Ⅰ(留学生) 2年日本語①Ⅱ(留学生) 1年専門日本語Ⅰ(留学生) 1年専門日本語Ⅱ(留学生)
その他	講師	杉原 亨 (48) (令和7年4月) 修士(政策・メディア) 博士(ライブラリー サイエンス)
		職業と人生
その他	講師	竹田 恵子 (44) (令和7年4月) 博士(学術)
		コミュニティ論
その他	講師	池 成林 (53) (令和7年4月) 修士(言語学)※
		1年韓国語Ⅰ 1年韓国語Ⅱ 2年韓国語Ⅰ 2年韓国語Ⅱ
その他	講師	戸加里 康子 (55) (令和7年4月) 修士(社会学)※
		東洋史 文化人類学
その他	講師	豊岡 めぐみ (45) (令和7年4月) 博士(文学) Doctorat (Philosophie) (フランス)
		哲学 倫理学
その他	講師	郷 希 瑛 (都馬 ナブチ) (60) (令和7年4月) 修士(文学)※
		1年中国語Ⅰ 1年中国語Ⅱ 2年中国語Ⅰ 2年中国語Ⅱ
その他	講師	中路 喜之 (63) (令和8年4月) 法学修士※
		民事訴訟法A 民事訴訟法B

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	濱口 和久 (56) <令和7年4月> 学士(工学) 修士(国際情報)
		防災と安全 地域防災論 地域危機管理論
その他	講師	藤井 毅彦 (57) <令和7年4月> 修士(学術)
		人文地理学
その他	講師	白 恵俊 (54) <令和7年4月> 修士(学術)※
		1年韓国語Ⅰ 1年韓国語Ⅱ 2年韓国語Ⅰ 2年韓国語Ⅱ
その他	講師	堀江 正樹 (65) <令和7年4月> 文学士 修士(歴史学) (中国)
		東洋史 1年中国語Ⅰ 1年中国語Ⅱ 2年中国語Ⅰ 2年中国語Ⅱ
その他	講師	松井 文晴 (46) <令和8年4月> 修士(法学)※
		労働法 A 労働法 B
その他	講師	松野 達 (56) <令和7年4月> 修士(英米文学)※
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	松谷 泰樹 (62) <令和7年4月> 修士(社会科学)※
		経済学
その他	講師	水野 達朗 (52) <令和7年4月> 博士(学術)
		外国文学 文章表現の基礎 レポートの書き方 ビジネス文の書き方
その他	講師	水野 浩幸 (51) <令和7年4月> 修士(体育学)
		スポーツの心理学 スポーツ演習
その他	講師	宮崎 英生 (64) <令和7年4月> 法学修士※
		日本国憲法 被害者学
その他	講師	村田 佳代子 (63) <令和7年4月> 博士(心理学)
		心理学
その他	講師	矢野 剛 (53) <令和7年4月> 修士(文学)※
		1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	山根 正弘 (65) <令和7年4月> 文学修士※
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	山本 尚志 (61) <令和7年4月> 文学修士※
		西洋史 西洋文化史
その他	講師	柳 在貞 (58) <令和7年4月> 修士(保健学)※
		健康科学 スポーツ栄養学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	濱口 和久 (56) <令和7年4月> 学士(工学) 修士(国際情報)
		防災と安全 地域防災論 地域危機管理論
その他	講師	藤井 毅彦 (57) <令和7年4月> 修士(学術)
		人文地理学
その他	講師	白 恵俊 (54) <令和7年4月> 修士(学術)※
		1年韓国語Ⅰ 1年韓国語Ⅱ 2年韓国語Ⅰ 2年韓国語Ⅱ
その他	講師	堀江 正樹 (65) <令和7年4月> 文学士 修士(歴史学) (中国)
		東洋史 1年中国語Ⅰ 1年中国語Ⅱ 2年中国語Ⅰ 2年中国語Ⅱ
その他	講師	松井 文晴 (46) <令和8年4月> 修士(法学)※
		労働法 A 労働法 B
その他	講師	松野 達 (56) <令和7年4月> 修士(英米文学)※
		1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	松谷 泰樹 (63) <令和7年4月> 修士(社会科学)※
		経済学
その他	講師	水野 達朗 (52) <令和7年4月> 博士(学術)
		外国文学 文章表現の基礎 レポートの書き方 ビジネス文の書き方
その他	講師	水野 浩幸 (51) <令和7年4月> 修士(体育学)
		スポーツの心理学
その他	講師	宮崎 英生 (64) <令和7年4月> 法学修士※
		日本国憲法 被害者学
その他	講師	村田 佳代子 (63) <令和7年4月> 博士(心理学)
		心理学
その他	講師	矢野 剛 (53) <令和8年4月> 修士(文学)※
		2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	山根 正弘 (65) <令和7年4月> 文学修士※
		1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ 2年英語①Ⅰ 2年英語①Ⅱ 2年英語②Ⅰ 2年英語②Ⅱ
その他	講師	山本 尚志 (61) <令和7年4月> 文学修士※
		西洋史 西洋文化史
その他	講師	柳 在貞 (58) <令和7年4月> 修士(保健学)※
		健康科学 スポーツ栄養学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
			高谷 豊亮 (36) <令和7年4月> 修士(スポーツウエルネス学) トレーニング演習
			坂倉 圭佑 (32) <令和7年10月> 博士(法学) 哲学・思想入門
			小山 勇 (52) <令和7年4月> 修士(英米文化) 1年英語①Ⅰ 1年英語①Ⅱ 1年英語②Ⅰ 1年英語②Ⅱ
			G. ルイス・ティノコ (64) <令和7年4月> 教育学修士 1年スペイン語Ⅰ 1年スペイン語Ⅱ 2年スペイン語Ⅰ 2年スペイン語Ⅱ
			増山 久美 (63) <令和7年4月> 修士(地域研究) 1年スペイン語Ⅰ 1年スペイン語Ⅱ 2年スペイン語Ⅰ 2年スペイン語Ⅱ

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
- ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の清年齢**を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授
- ・教員がサバカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・昇任により、渡邊（村井）泰洋を准教授から教授に変更
- ・阿部崇史講師の本学専任教員就任のため、『政治学』を河村和徳教授が担当
- ・授業運営上の都合により、『社会学』の池上賢准教授を、本多俊貴准教授に変更
- ・授業運営上の都合により、『講座「SDGs」』の佐藤伸一郎教授を削除
- ・授業運営上の都合により、『スポーツ演習』の水野浩幸講師を、米重修一教授に変更
- ・授業運営上の都合により、『トレーニング演習』に米重修一教授、高谷惣亮講師を担当
- ・宮下量久教授の他大学移籍（退職）に伴う身分変更のため、講師に変更
- ・学内で昇任したため、岡田陽介准教授から教授に職名変更
- ・教育効果の向上を図るため、矢ヶ崎邦彦准教授が『アカデミック・スキル』を担当
- ・授業運営上の都合により、『1年英語①Ⅰ』、『1年英語①Ⅱ』、『1年英語②Ⅰ』、『1年英語②Ⅱ』の今井宏二、薄井良治、甲田直喜の3講師を削除
- ・授業運営上の都合により、『1年英語①Ⅰ』、『1年英語①Ⅱ』、『1年英語②Ⅰ』、『1年英語②Ⅱ』を小山努講師が担当
- ・喜多田敏嵩講師の退職に伴い、『1年スペイン語Ⅰ』、『1年スペイン語Ⅱ』、『2年スペイン語Ⅰ』、『2年スペイン語Ⅱ』をC. ルイズ・ティノコ、増山久美両講師に変更
- ・授業運営上の都合により、『1年英語②Ⅰ』、『1年英語②Ⅱ』の小池 知之講師を削除
- ・授業運営上の都合により、『1年英語①Ⅰ』、『1年英語①Ⅱ』の松野 達講師を削除
- ・成田大起講師の退職に伴い、板倉圭佑講師に担当変更
- ・授業運営上の都合により、『1年英語②Ⅰ』、『1年英語②Ⅱ』の矢野剛講師を削除

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)の基幹教員数について、(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
10 名	5 名	8 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(B'))	助手(B')
9	4	0	0	13	13	0	9	4	0	0	13	13	0
(8)	(5)	(0)	(0)	(13)	(13)	0							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(D'))	助手(D')
9	4	0	0	13	13	0	9	4	0	0	13	13	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)(A')」欄には「-」を記入してください。
・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	2 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教員研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{13}{13} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{13} = 0 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和7年)	・外国語学部中国語学科、スペイン語学科の収容定員未充足の是正に努めること。	中国語学科・スペイン語学科を含む外国語学部各学科は、語学重視のカリキュラムから本学が目標に掲げる国際性・専門性・人間性を身につけることができる実用性を重視したカリキュラムへの改定および三つのポリシーの改定を令和7年度に実施し、教育内容の充実を図った。 結果として、中国語学科の収容定員200名のうち、令和7年5月1日時点での在学生数は125名であり、収容定員充足率は0.62倍となっており、スペイン語学科においては収容定員200名のうち、令和7年5月1日時点での在学生数は143名であり、収容定員充足率は0.71倍となっている。 また、志願者状況および学力水準の維持・向上、大学教育の質の保証を目的として同2学科の入学定員をそれぞれ現在の50名から40名に変更すべく令和7年4月30日に収容定員関係学則変更届出書を文部科学省高等教育局企画課大学設置・評価室に提出している。(7)	現在取り組んでいる学生募集活動に加え、実用性を重視したカリキュラムに変わったこと及び学部・学科が高校生向けに実施しているプログラム（授業公開プログラム、研究室VISITINGプログラムなど）などを積極的に情報発信し、中国語学科及びスペイン語学科の特色・魅力を伝え、学生数の増加に努めていく。 (7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<政経学部 社会安全学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的な組織として、「FD委員会」を設置している。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会：副学長、各学部長及び各学部長が推薦する各学部所属教員1名、各研究科長が推薦する各研究科所属教員1名、学務部長、学務課長、八王子学務課長及び学長事務室長で構成し、例年5回程度開催している。なお、令和6年度は8回の開催となった。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会の職務： <ul style="list-style-type: none"> ・本学の全ての教員の教育能力・資質の改善・向上を図ること。 ・授業内容・方法等の改善を図ること。 ・厳正かつ適正な成績評価を実施すること。 ・その他、以上の目的を達成するために必要なこと。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDワークショップ ・新任教員研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDワークショップ：全ての教員の教育能力・資質の改善・向上を図ること、授業の内容及び方法の改善を図ること、教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化を図ることなどを目的として、専任教員を対象に学部全体、大学院全体、各学部等の「FDワークショップ」を恒常的に開催している。 ・新任教員研修会：新任の専任教員を対象に、本学での教育・研究活動を行う上で必要とされる心構え、教育理念・方針などを理解してもらうことを目的として、毎年「新任教員研修会」を開催している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDワークショップ：令和6年度は、学部・大学院全体において「拓殖大学における地域連携の現在と未来」をテーマとして開催し、312名が参加し専任教員の出席率は93.9%であった。 ・新任教員研修会：令和6年度は、教学方針、教学における取組等をテーマとして28名に対して開催した。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDワークショップ：学部・大学院全体の当日のアンケートでは、「大変参考になった」又は「参考になった」の回答が、94.6%となった。全体のFDワークショップの他、各学部等のFDワークショップで取り扱ったテーマで議論した結果については、授業改善に役立てられている。
--

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・「授業改善のための学生アンケート」は、学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法の改善、並びに教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てている。なお、学部の授業科目を対象に実施しており、令和6年度は12月4日から12月14日の間に実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・「授業改善のための学生アンケート実施報告書」は、全体集計第Ⅰ部、科目別集計第Ⅱ部によりまとめ、第Ⅰ部を本学ホームページを通して公表し、第Ⅱ部を学内イントラネットを通して開示している。

(注)・「④ a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 政経学部社会安全学科は、法学・政治学分野における社会安全上の理論的・実践的知識を身につけ、グローバル化時代の社会安全上の諸問題を的確に見極め、解決できる能力と意欲を持った人材を育成することを目的として設置した。本学科における5月1日現在の収容定員(150人)に対する在籍者数(162人)の比率は、108.0%であるとともに、教育課程及び教育組織等も、概ね計画どおり実施をしている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期
- ・令和12年3月 公表予定
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
- (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
- 令和10年度に公益財団法人大学基準協会による第4期認証評価の受審を予定している。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書(令和7年度)
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ a で「有」の場合 ≫
- b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
- ≪ a で公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。